

# 昇龍道の現況及び 令和4年度の活動報告

---



2023年3月10日

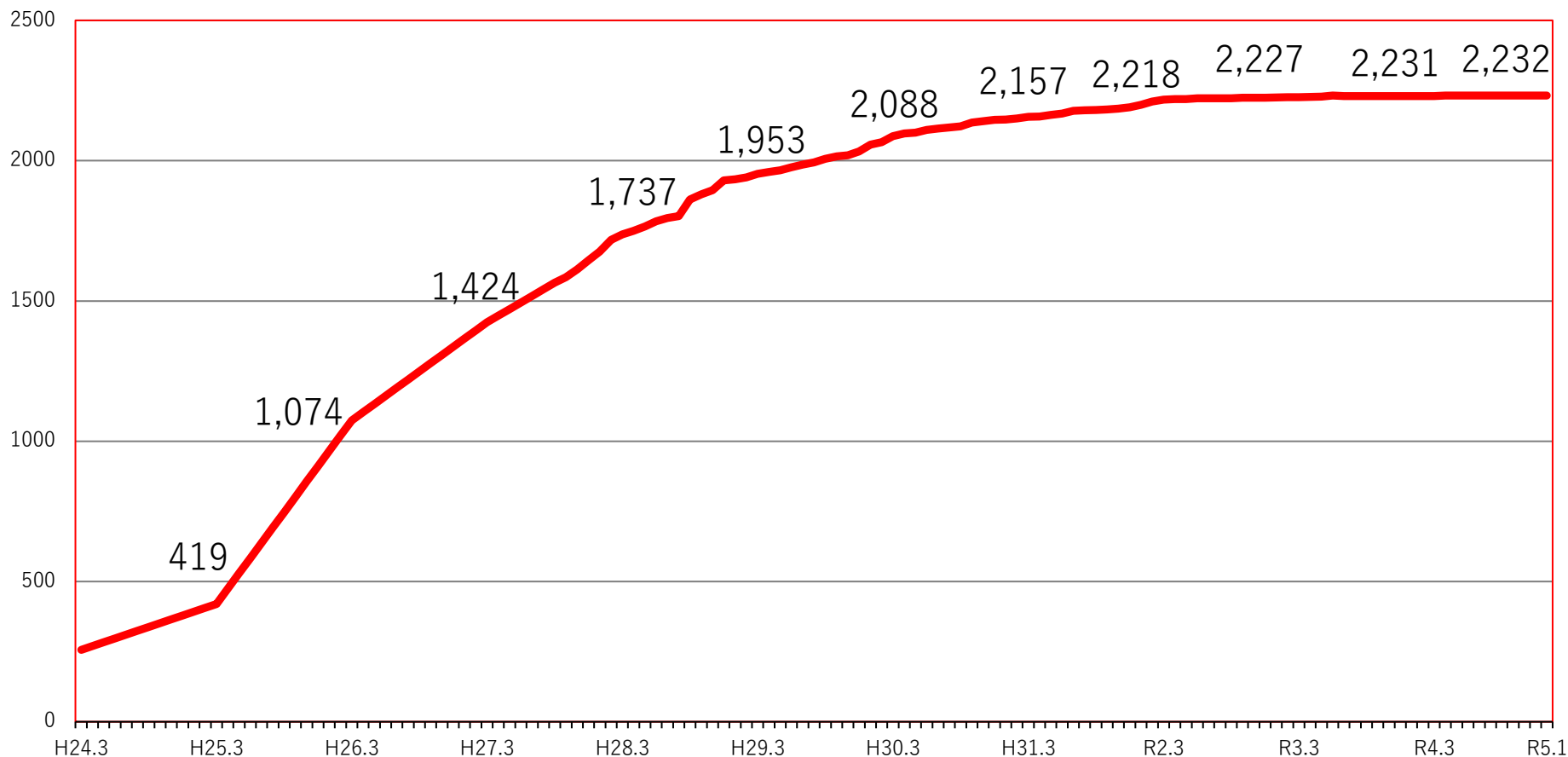
第14回昇龍道プロジェクト推進協議会



1. 昇龍道プロジェクト会員の現況
2. インバウンド観光の状況
3. 昇龍道エリアの状況
4. 令和4年度取組報告
  - (1) 観光の更なる質の向上
  - (2) 豊かさを実感できる地域の実現
  - (3) インバウンド回復を見据えた準備

# 1. 昇龍道プロジェクト会員の現況

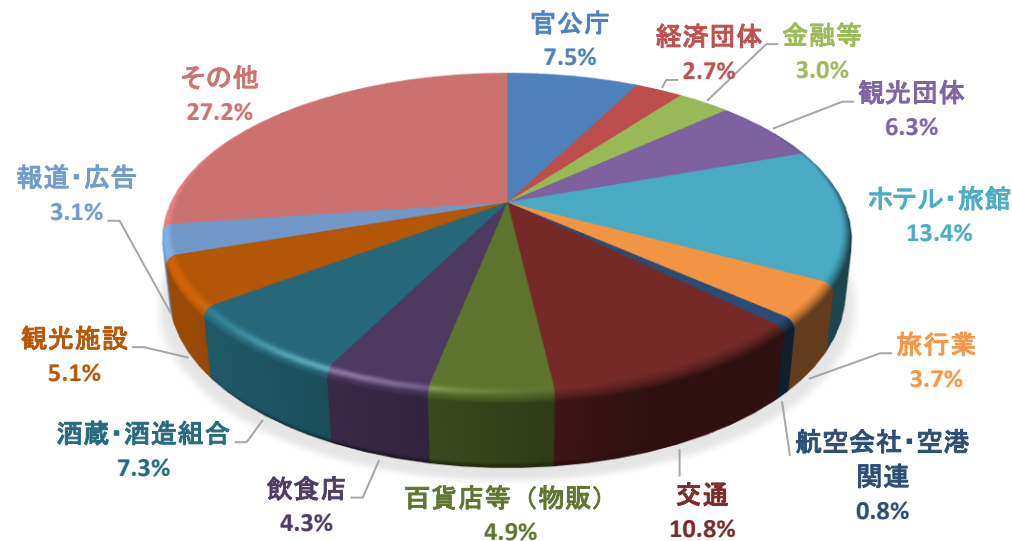
協議会は本年12年目を迎えます。  
多数の皆様へ、会員としてご参加いただいています。



# カテゴリ別会員数（令和5年1月末現在）

	愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	福井県	石川県	富山県	長野県	滋賀県	その他	計
官公庁	40	15	25	17	18	14	10	18	5	5	167
経済団体	9	10	12	3	22	2	2	0	0	0	60
金融等	23	5	11	10	3	4	3	2	1	5	67
観光団体	23	11	38	16	10	16	7	14	5	1	141
ホテル・旅館	68	37	54	38	17	20	20	31	9	6	300
旅行業	43	4	15	4	2	1	2	2	0	9	82
航空会社・空港関連	14	0	0	0	0	0	0	0	0	4	18
交通	62	45	57	20	19	11	7	11	1	7	240
百貨店等（物販）	48	6	22	7	6	6	5	2	3	5	110
飲食店	36	3	31	8	2	6	2	6	1	0	95
酒蔵・酒造組合	41	6	41	11	12	17	11	17	7	0	163
観光施設	26	6	31	13	13	9	5	5	5	0	113
報道・広告	43	1	4	0	1	3	2	0	0	15	69
その他	257	95	111	33	14	23	7	8	2	57	607
計	733	244	452	180	139	132	83	116	39	114	2,232

対前年増加数
0
0
0
1
0
1
-1
1
0
0
0
0
-1
1



## 2. インバウンド観光の状況

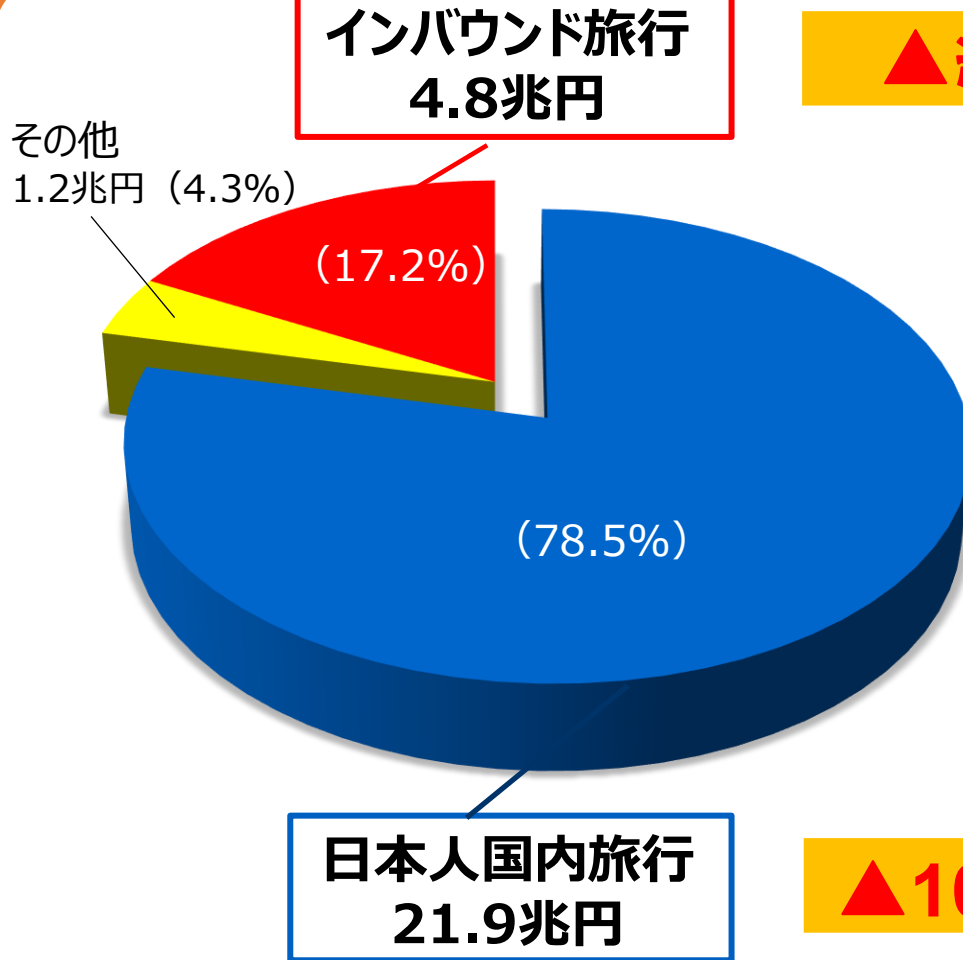
- 国内旅行は、消費額の目標を前倒して達成
- インバウンドは、旅行者数が約 8 割、消費額と地方部での宿泊者数は約 6 割の達成率

	(2019年実績)	(2020年目標)	達成率
日本人国内旅行消費額	21.9兆円	21兆円	104%
訪日外国人旅行者数	3,188万人	4,000万人	79%
外国人リピーター数	2,047万人	2,400万人	85%
訪日外国人旅行消費額	4.8兆円	8兆円	60%
地方部での外国人延べ宿泊者数	4,309 万人泊	7,000 万人泊	61%

# 新型コロナウイルス感染拡大による国内全体の旅行消費への影響

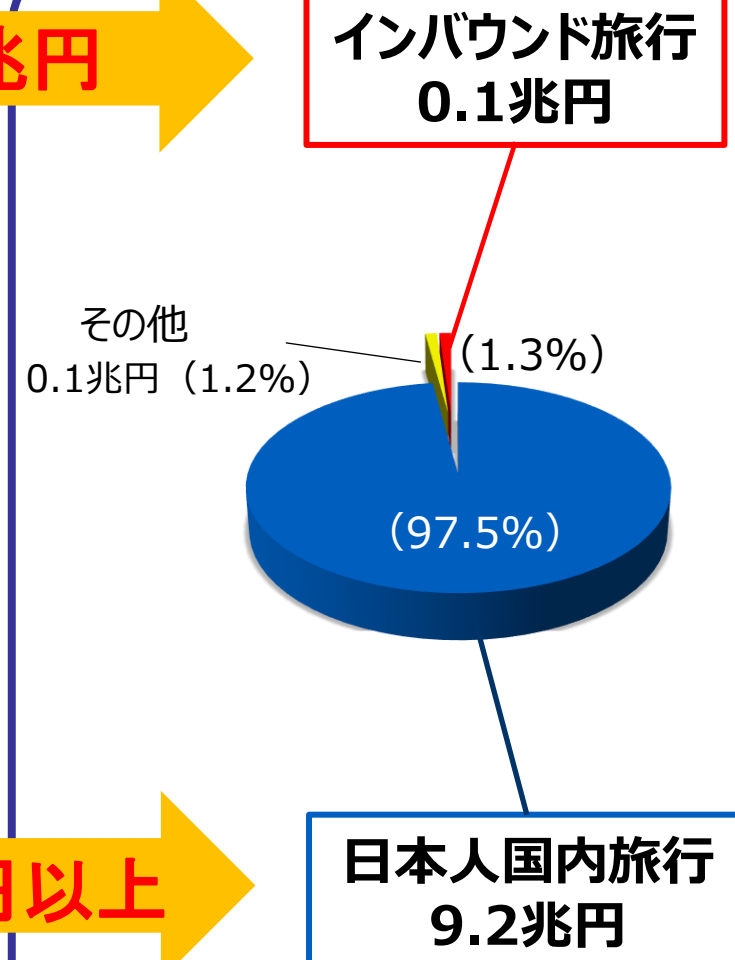
2019年（令和元年）：27.9兆円

2021年（令和3年）：9.4兆円



▲約5兆円

▲10兆円以上

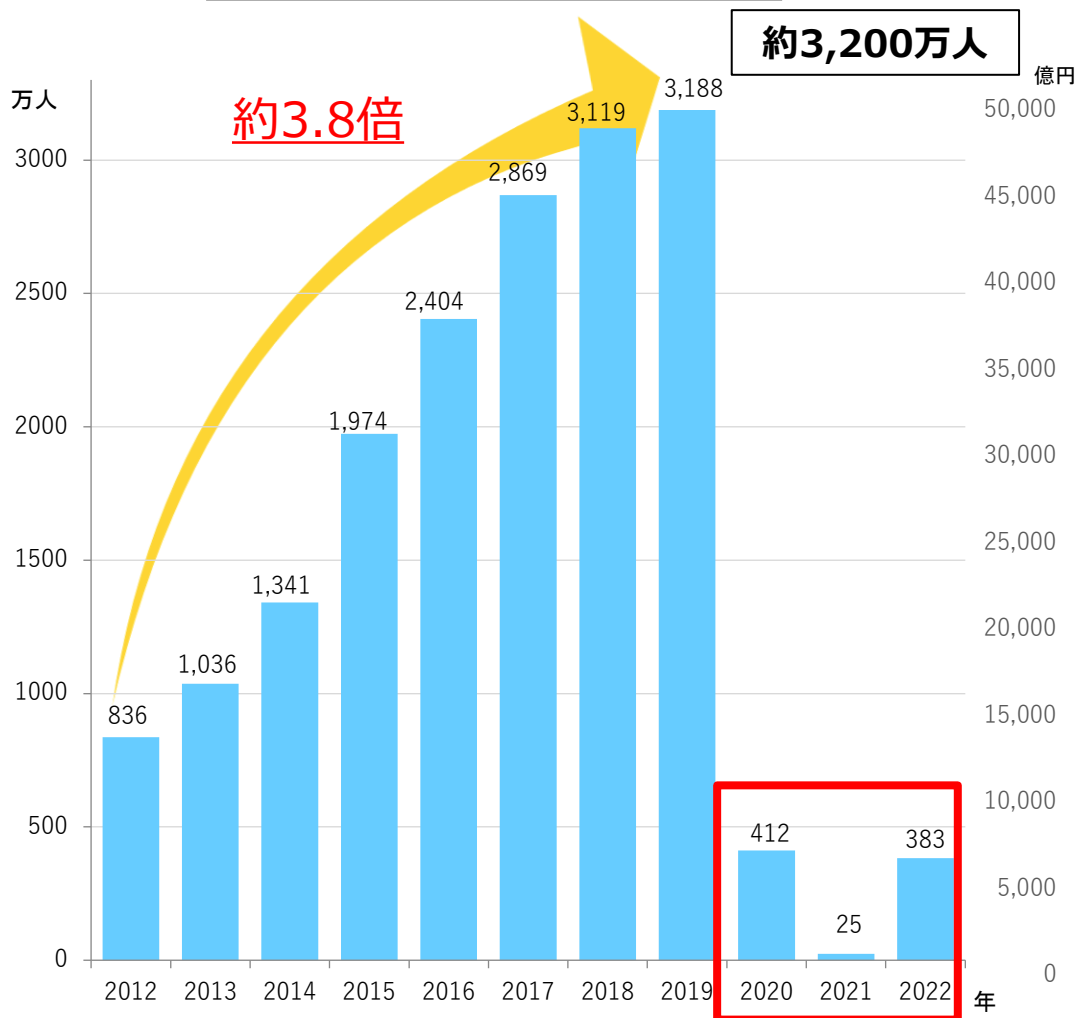




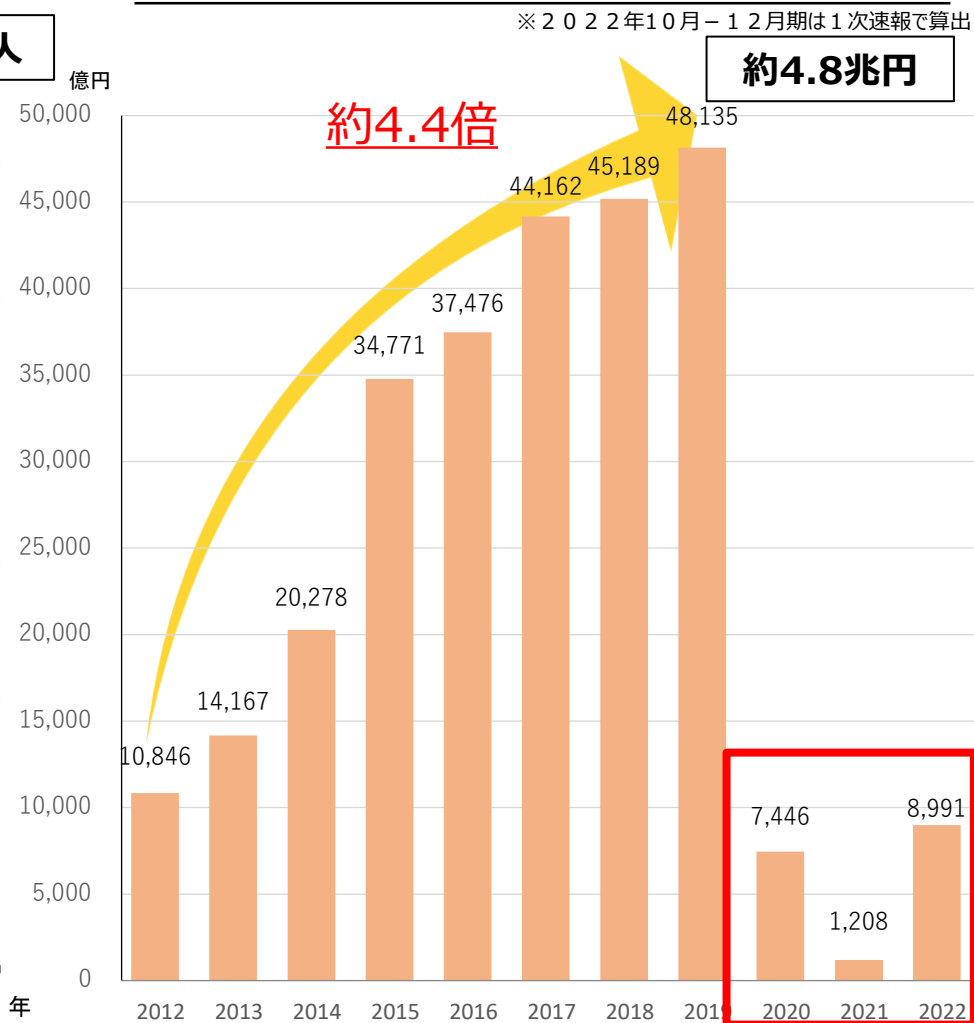
# インバウンドの推移と新型コロナの影響

- 2019年まで、訪日外国人旅行者数（約3,200万人）と消費額（約4.8兆円）は飛躍的に増加
- 新型コロナの影響により、2020年以降、大幅な落ち込み
- 2022年旅行者数は2019年比 約12%

## 訪日外国人旅行者数の推移

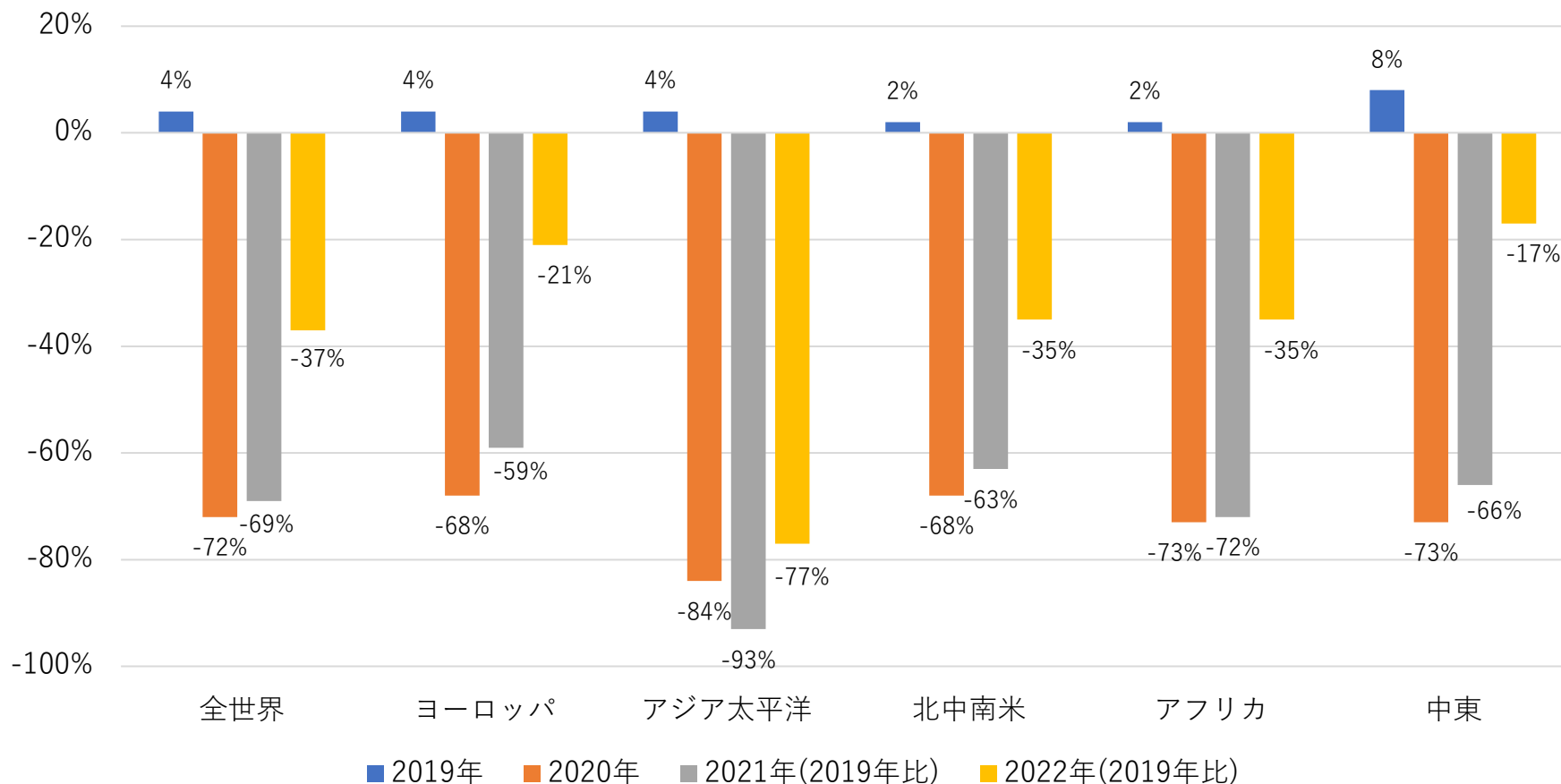


## 訪日外国人旅行者による消費額の推移



# 国際観光客到着数の伸び率の変化

- 2022年の国際観光客到着数は、ヨーロッパ（2019年比 -21%）中東（2019年比 -17%）と回復が早い
- 逆にアジア太平洋は、2019年比-77%と回復が遅れている



※2019年、2020年は対前年比、2021年、2022年は対2019年比

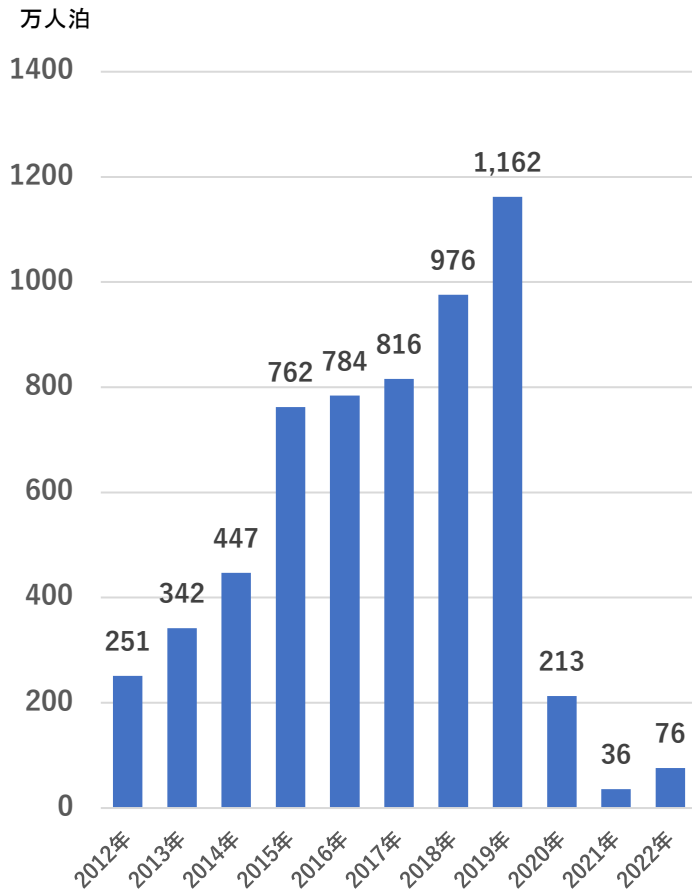
出典: UNWTO

### 3. 昇龍道エリアの状況

# 昇龍道9県の外国人延べ宿泊者数推移・国籍(出身地)別構成比(2019年)

- 2019年の昇龍道9県の外国人延べ宿泊者数は、対2012年比4.6倍の1,162万人泊。
- 2022年11月時点の外国人延べ宿泊者数は、76万人泊となっており、前年の年間宿泊者数36万人泊を上回っている。
- 2019年の全国の国籍別(出身地別)外国人延べ宿泊者数の構成は、東アジアが59%、欧米豪は17%。  
昇龍道9県の構成は、東アジアが69%(その内、中国の割合43%)、欧米豪は10%。

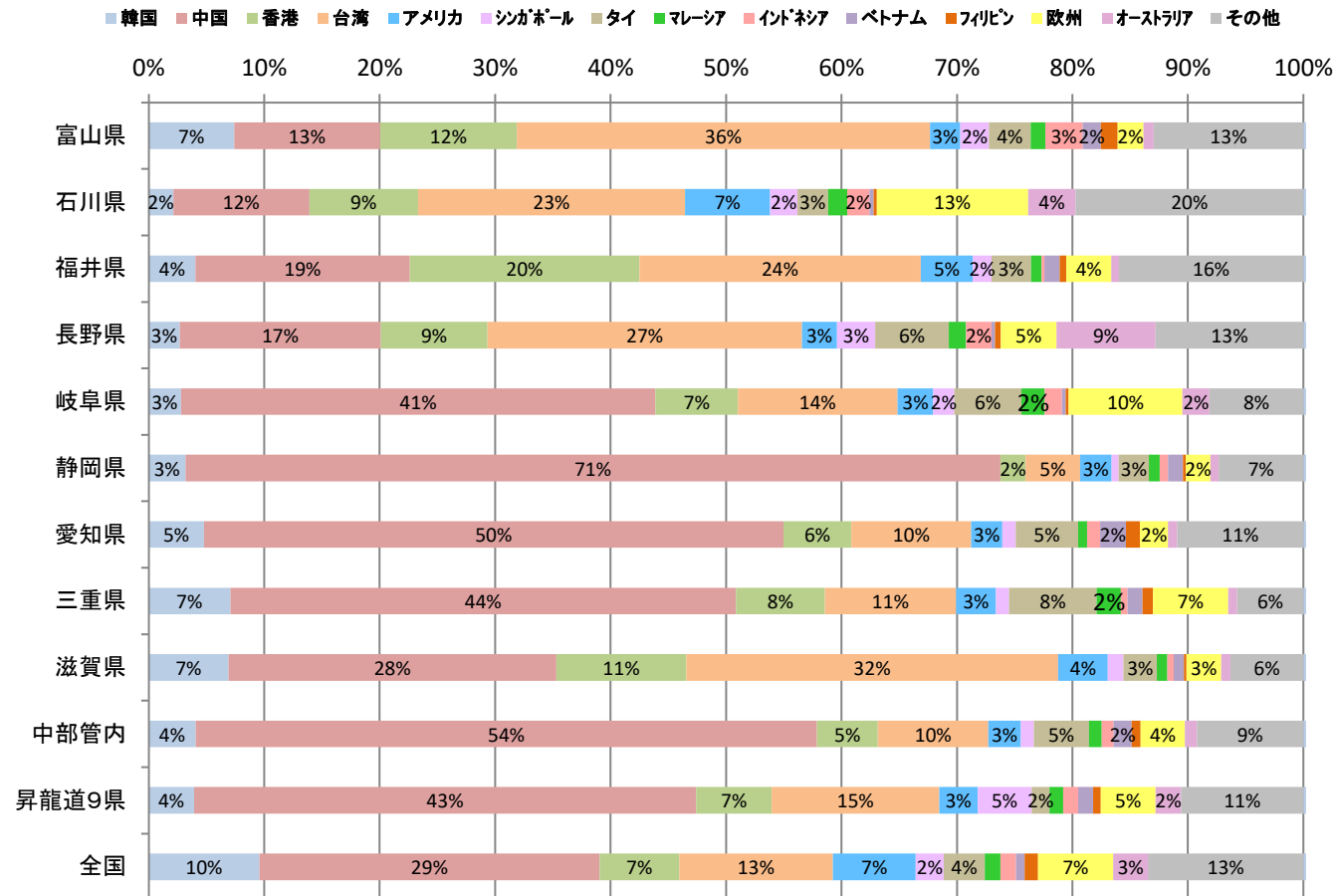
## 外国人延べ宿泊者数の推移(2012年~2022年)

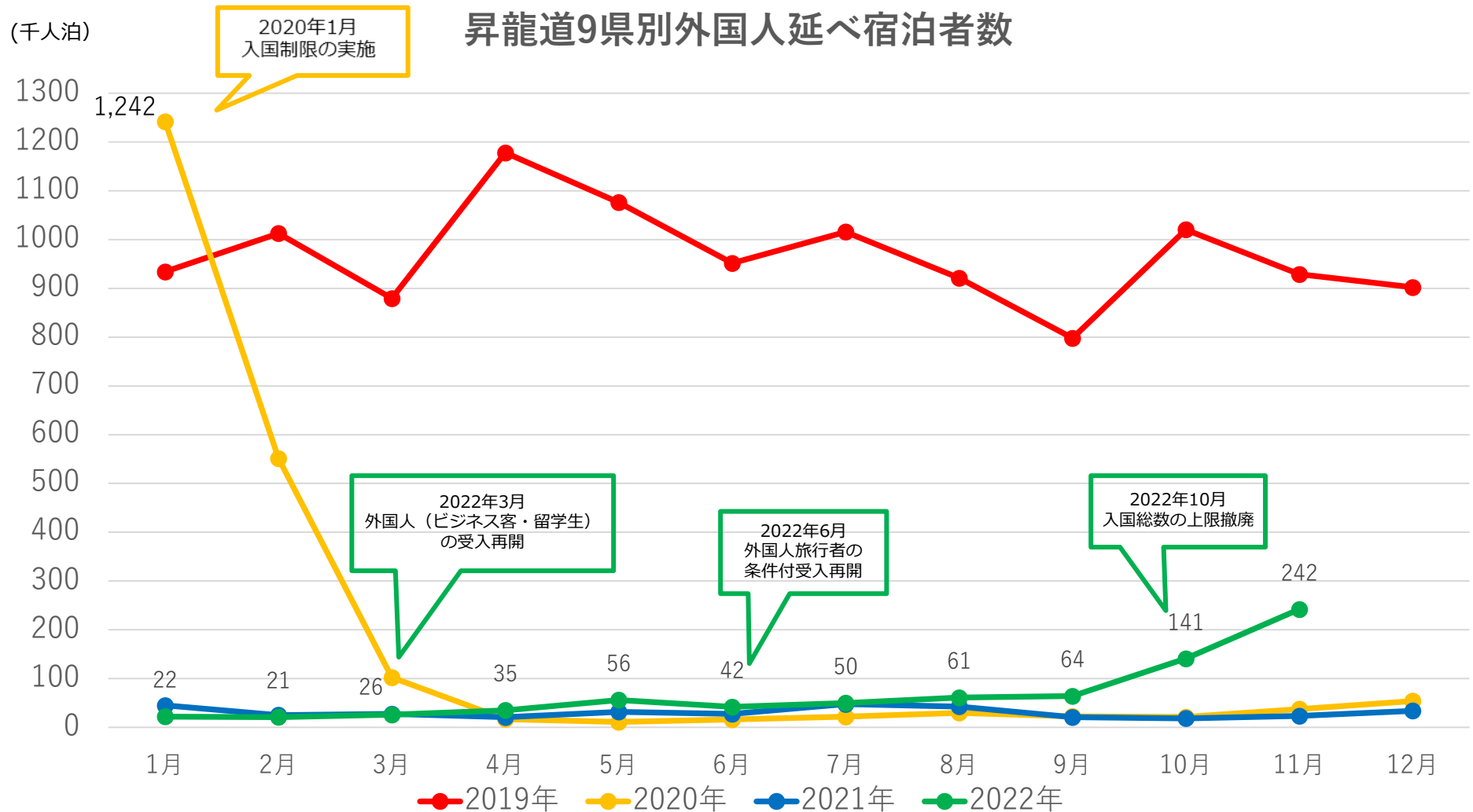


※観光庁「宿泊旅行統計調査」による。

※2022年は1月~11月の速報値

## 国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数構成比(2019年)





※従業者数10人未満の施設も含む延べ宿泊者数。 ※2019年～2021年は確定値、2022年は速報値

# 昇龍道・各県別外国人延べ宿泊者及び指数（推移）

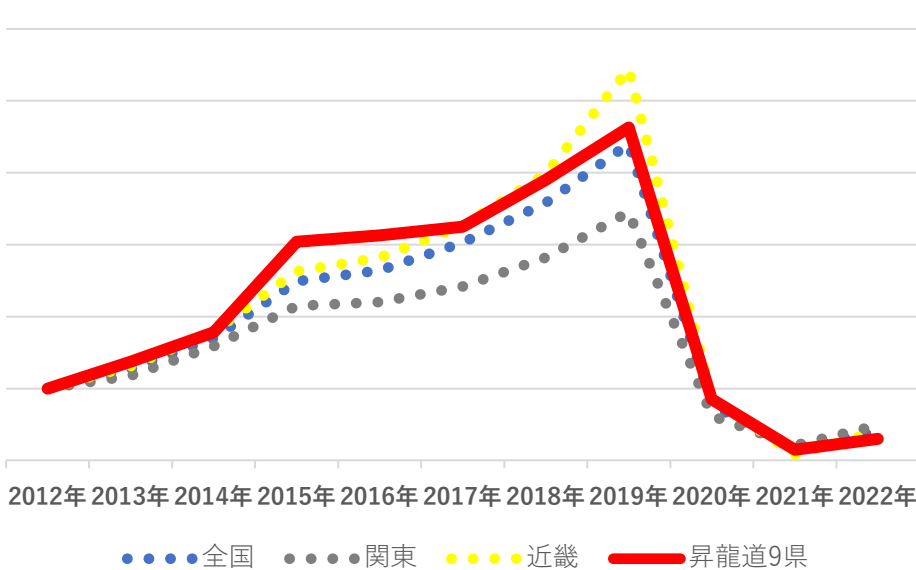


(年)	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
全国	26,314	33,496	44,825	65,615	69,389	79,691	94,275	115,656	20,345	4,317	10,780
関東	11,752	13,913	18,709	25,221	25,798	28,410	33,123	40,537	7,322	2,496	5,741
近畿	6,055	7,931	10,850	15,922	17,077	19,780	24,087	32,936	5,299	514	2,401
昇龍道9県	2,507	3,423	4,465	7,615	7,845	8,159	9,765	11,618	2,126	364	761
富山県	94	136	142	208	222	288	306	358	51	11	39
石川県	190	326	348	517	623	777	974	985	189	13	60
福井県	27	30	32	56	54	61	76	98	23	9	12
長野県	288	543	660	947	1,135	1,290	1,527	1,578	527	63	100
岐阜県	260	417	598	931	1,013	975	1,484	1,660	290	31	78
静岡県	494	560	786	1,740	1,570	1,502	1,794	2,494	267	93	142
愛知県	945	1,148	1,490	2,347	2,393	2,543	2,850	3,634	660	108	260
三重県	95	131	179	392	352	334	341	389	59	17	41
滋賀県	114	132	231	477	481	389	413	424	60	19	29

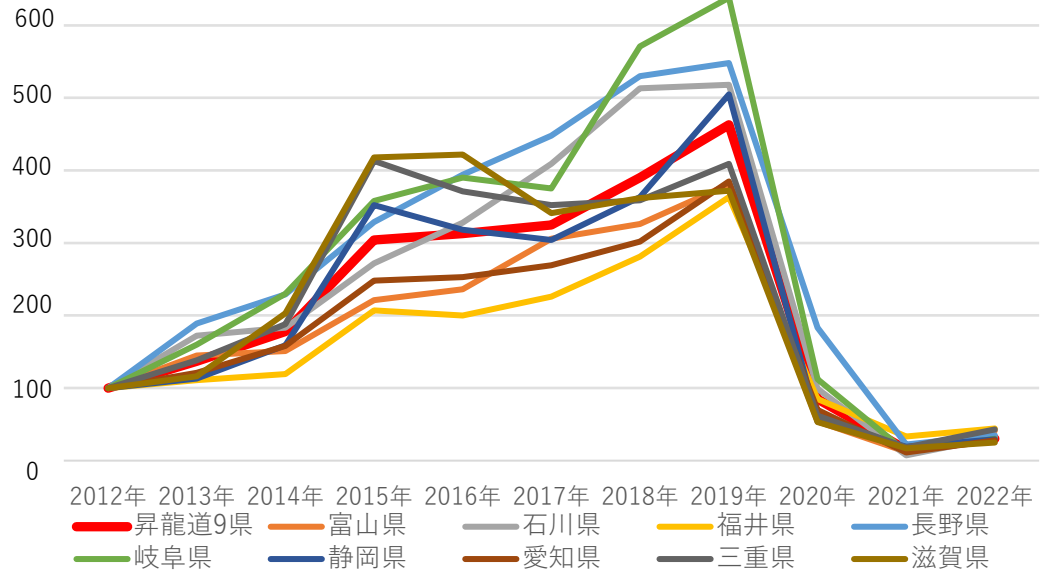
(千人泊) 2012年を100とした場合の指数

	2019年	2021年	2022年
全国	440	16	41
関東	345	20	49
近畿	544	9	40
昇龍道	463	15	30
富山	381	13	41
石川	517	8	32
福井	368	37	44
長野	547	21	35
岐阜	638	13	30
静岡	505	20	29
愛知	385	12	28
三重	411	18	43
滋賀	372	17	25

地域別



昇龍道9県別



※従業者数10人未満の施設も含む外国人延べ宿泊者数。 ※2012年～2021年は確定値、2022年は1月～11月の速報値。  
 ※「関東」とは関東運輸局管内の茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県の8県、  
 「近畿」とは近畿運輸局管内の滋賀県（昇龍道と重複）、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の6県

(出典:観光庁宿泊旅行統計)

# 【参考】昇龍道・各県別延べ宿泊者及び指数（推移）

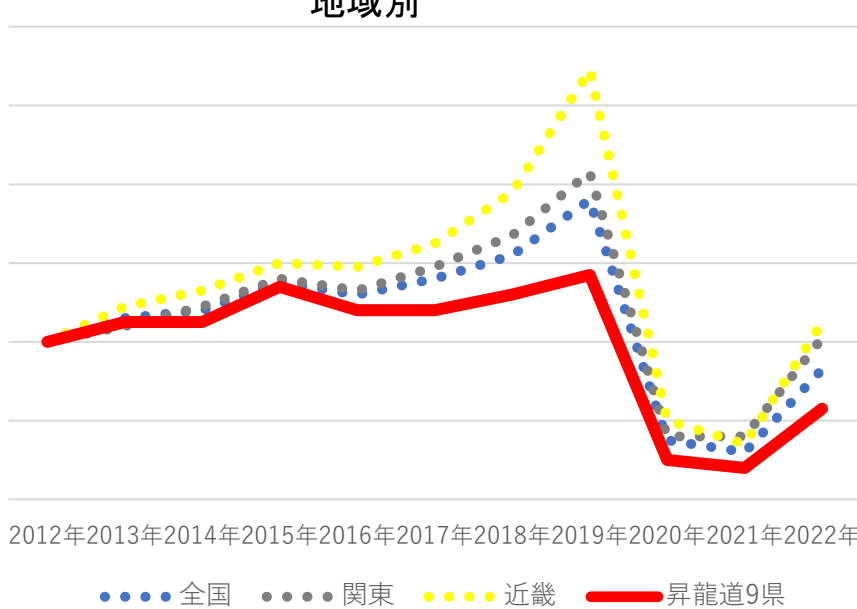


(年)	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
全国	439,495	465,893	473,502	504,078	492,485	509,597	538,002	595,921	331,654	317,774	407,069
関東	119,749	124,976	129,980	138,342	135,544	142,552	151,910	171,112	91,330	91,562	120,700
近畿	62,669	68,191	70,470	75,467	74,437	78,102	86,276	105,661	50,149	46,477	65,935
昇龍道9県	84,785	88,653	88,660	96,880	91,935	91,350	94,749	98,893	58,928	57,290	70,135
富山県	3,619	3,821	3,489	3,991	3,408	3,895	3,780	3,808	2,228	2,394	2,884
石川県	7,244	7,450	7,543	8,730	8,697	8,737	9,131	9,201	5,204	4,452	5,809
福井県	3,536	3,251	3,790	4,164	3,709	3,587	4,057	4,144	2,564	2,330	2,551
長野県	18,291	18,751	17,897	19,213	17,805	17,989	18,325	18,053	11,242	10,842	13,214
岐阜県	5,830	6,042	6,099	6,778	6,384	6,205	6,852	7,304	4,500	3,761	4,994
静岡県	20,287	20,923	21,023	22,530	21,238	20,779	21,862	23,429	14,369	14,263	16,624
愛知県	13,426	14,653	15,395	16,622	16,559	17,189	17,010	19,338	11,068	11,342	14,604
三重県	8,335	9,686	8,794	9,459	9,304	8,319	8,901	8,600	5,069	5,178	6,243
滋賀県	4,217	4,075	4,629	5,393	4,831	4,650	4,831	5,016	2,684	2,727	3,216

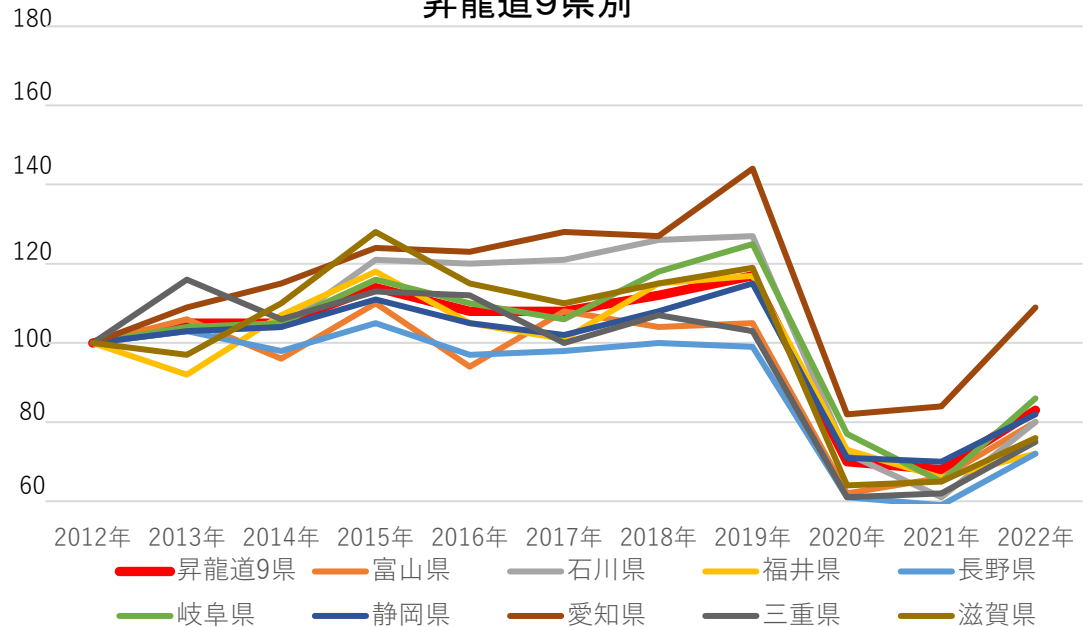
(千人泊) 2012年を100とした場合の指数

	2019年	2021年	2022年
全国	136	72	93
関東	143	75	101
近畿	169	74	105
昇龍道	117	67	83
富山	105	69	80
石川	127	61	80
福井	117	67	72
長野	99	58	72
岐阜	125	66	86
静岡	115	69	82
愛知	144	87	109
三重	103	61	75
滋賀	119	62	76

地域別



昇龍道9県別



※従業者数10人未満の施設も含む延べ宿泊者数。 ※2012年～2021年は確定値、2022年は1月～10月速報値  
 ※「関東」とは関東運輸局管内の茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県の8県  
 「近畿」とは近畿運輸局管内の滋賀県（昇龍道と重複）、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の6県  
 (出典：観光庁宿泊旅行統計)

## 4. 令和4年度取組報告

- (1) 観光の更なる質の向上
- (2) 豊かさを実感できる地域の実現
- (3) インバウンド回復を見据えた準備



# (1) 観光のさらなる質の向上

## 観光の付加価値向上

### ○高級ホテル整備に対する補助制度【愛知県、名古屋市】

ハイレベルな国際会議の開催や海外富裕層旅行者等の誘致及び都市のブランド力向上に資する高級ホテルの誘致を進めています。高級ホテルの立地を促進するため、高級ホテルを新設する企業等に対して、新設に要する経費の一部を1件あたり10億円を限度に補助。(両方合わせると最大で20億円)

- ・認定実績  
TIAD、オートグラフ コレクション (R5.7月開業予定)  
コンラッド名古屋 (R8夏開業予定)  
(仮称) エスパシオナゴヤキャッスル (R7春開業予定)



## 観光地の再生

### ○地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化

観光地の顔となる宿泊施設を中心とした、地域一体となった面的な観光地再生・高付加価値化について、自治体・DMO等による観光地再生に向けた地域計画の作成や、同計画に基づく改修事業等を強力に支援。

#### ①地域計画の作成支援

中長期的な観光地の再生・高付加価値化プラン(地域計画)の作成に向け、

- ・地域の合意形成、
- ・地域再生のコンセプトづくり、
- ・個別施設の改修計画の磨き上げ、
- ・資金調達

などの点について、地域の取組を国が支援(専門家派遣等の実施)

#### ②地域計画に基づく事業支援

地域計画に基づく、面的な観光地再生に資する事業を強力に支援

<b>宿泊施設の高付加価値化</b> 観光地の面的再生に資する宿泊施設の大規模改修支援 補助上限1億円(補助率原則1/2(※)) ※投資余力に乏しい事業者について、一定の条件を満たしたものについては補助率2/3	
<b>観光施設改修</b> 土産物店や飲食店等の改修支援 補助上限500万円(補助率1/2)	
<b>観光地魅力向上のための廃屋撤去</b> 観光地の景観改善等に資する廃屋の撤去支援 補助上限1億円(補助率1/2)	 
<b>公的施設への観光目的での改修</b> 立地の良い公共施設へのカフェ等の併設などの改修支援 補助上限2000万円(補助率1/2) ※民間への運営委託等、民間活力導入が条件	

## DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

### ○仮想空間を活用した情報発信

訪日外国人旅行者が安全・安心かつ快適に旅行を満喫できるよう整備された地域の受入環境について、仮想空間を活用して海外へ発信し、その結果を検証し、誘客の促進、今後の施策への活用及び他地域への展開を図る。

#### 「Safety NOTO」まつり観光安全滞在発信事業（北陸信越運輸局）

メタバースを用いて能登半島の観光資源である「キリコ祭り」のうち、和倉温泉エリアで実施される「石崎奉燈祭」を疑似体験するコンテンツを和倉温泉お祭り会館の紹介と併せて発信するとともに、国内在住の外国人の招請を実施することにより、和倉温泉お祭り会館及び「石崎奉燈祭」実施場所に最も近い宿泊・滞在拠点である和倉温泉エリアの旅館・飲食店等の安全性を発信し、安全・安心かつ快適に旅行を満喫できるよう整備された受入環境について検証・発信を行う。

#### 「宗教的配慮を含む訪日外国人旅行者受入環境の検証と仮想空間を活用した情報発信事業」（中部運輸局）

訪日外国人旅行者向けに整備された受入環境について、外国人モニターが実際に訪問して評価を行い、その結果を今後の受入環境の充実に活用すると共に、仮想空間上で受入環境の情報と合わせてこれら地域の安全、安心かつ魅力的な地域であることの認知度向上を図る。



仮想空間での情報発信

### ○デジタル技術を活用した受入環境整備の推進（北陸信越運輸局）

長野県塩尻市奈良井宿において、AR等技術を活用した観光案内表示及び有事の際における避難誘導システムを構築し、町並みの保存と利用を両立した安心安全な観光地域づくりを目指し、実証事業を実施。

#### <取組内容>

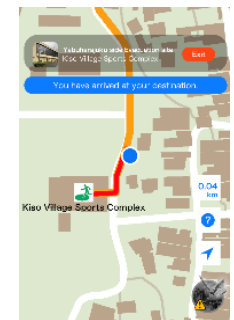
- 現状の課題共有とAR等技術の活用方法を決定するための地区検討会の開催
- AR等技術を活用した観光案内表示と避難誘導システムの構築
- 観光案内表示と避難誘導システムを検証するモニターツアーを実施
- 自走化にむけた検討会の開催



モニターツアーの様子



AR案内表示イメージ



避難誘導表示イメージ

# (1) 観光のさらなる質の向上

## 人材確保・育成

### ○観光地域づくり人材育成研修 (中央日本総合観光機構)

有識者や観光現場等で活躍する講師によるテーマ別講義・講演、中央日本エリア内の先進事例視察等を実施することで、最新のインバウンド振興の知見やノウハウの習得を促すとともに、受講生間の討議や協働学習等を通じて、エリア内の観光交流をともに牽引していく人材ネットワークの形成を目指し開催。

期間：令和4年9月～令和5年3月

人数：エリア内9県の観光実務者 25名

(自治体、DMO等観光団体、観光事業者等から選抜)

概要：ウィズコロナ時代の最新のツーリズム（旅行形態等）・海外市場動向・観光DX（データマネジメント・デジタルマーケティング）等に関する講義

観光先駆者講演

先進的な観光地経営視察（福井県小浜市、岐阜県下呂市）

グループワーク研究活動：令和4年12月～令和5年3月

コロナからの反転攻勢！

### 観光地域づくり人材育成研修

参加費 無料

研修期間: 令和4年9月～令和5年3月

研修人員: 30名

#### 本研修で学べる5つのポイント！

- Point1: ウィズコロナ時代のトレンド等、最新の旅行形態や旅行ニーズを学ぶ！
- Point2: データマネジメント、観光DX活用を学ぶ！
- Point3: Google SNSを活用し、最新のデジタルマーケティングを学ぶ！
- Point4: 地域一体となった、観光地経営を学ぶ！
- Point5: 観光先駆者の思い、想いを感じ、実践例や先進事例の研修から学ぶ！

実施形式

第一部 (9～12月)

- 講義(予定) (オンライン8回+オフライン2回)
- 現地視察(2回)

第二部 (1～3月)

- グループワーク(6回、オフ・オンで実施)
- 中間発表(1回)、最終発表(3回)を実施します。

研修内容

- グループワーク研修は、研修の目的を達成し、研修成果を発表・共有する。
- 最終研修の観光マーケティングの学びを踏まえ、実践例や先進事例の研修から学ぶ。

研修費用(研修費)の負担方法

- 研修費用: 30名(定員)を前提とし、参加費は無料です。研修費は自治体、DMO、観光事業者等が負担します。
- 研修費用: 研修費(研修費)は、研修費を負担する自治体、DMO、観光事業者等が負担します。
- 研修費用: 研修費(研修費)は、研修費を負担する自治体、DMO、観光事業者等が負担します。

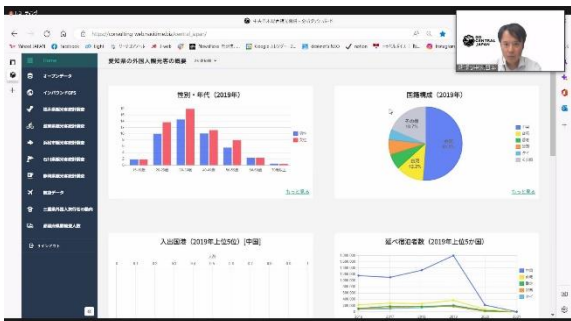
研修実施方法

研修期間: 令和4年9月～令和5年3月(全)

研修参加費: 研修費(研修費)は、研修費を負担する自治体、DMO、観光事業者等が負担します。

研修参加費: 研修費(研修費)は、研修費を負担する自治体、DMO、観光事業者等が負担します。

研修参加費: 研修費(研修費)は、研修費を負担する自治体、DMO、観光事業者等が負担します。



## 地方特有のコンテンツ等の活用

### ○地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出

地域経済を支える観光の本格的な復興の実現に向けて、地域の稼げる看板商品の創出を図るため、自然、食、歴史・文化・芸術、生業、交通等の地域ならではの観光資源を活用したコンテンツの造成から販路開拓まで一貫した支援を実施。

< JR小浜線を活用した地域ならではの周遊観光商品創出事業（小浜線利用促進協議会） >

嶺南地域を東西に結び、2022年に100周年を迎えるJR小浜線を活用して周遊性を高めながら、豊富な自然や食文化、歴史、伝統、文化施設などの地域固有の魅力を、ストーリーとして繋ぐことで、リピーターや滞在時間の増加につなげ、持続的に稼げる観光エリアを目指す。

(取組内容) ・モニターツアーの実施 ・ガイド育成講座実施 ・案内動画制作



### ○映像コンテンツを活用した地域情報発信（東海総合通信局）

海外向けにPRしたい地域資源（食品や工芸品等の地域産品や観光資源等）を持つ自治体等の「情報発信主体」と地域資源をPRするための映像を制作する「映像制作者」との案件形成を促進し、映像コンテンツを活用した国内外向けの地域資源PRのための情報を発信。



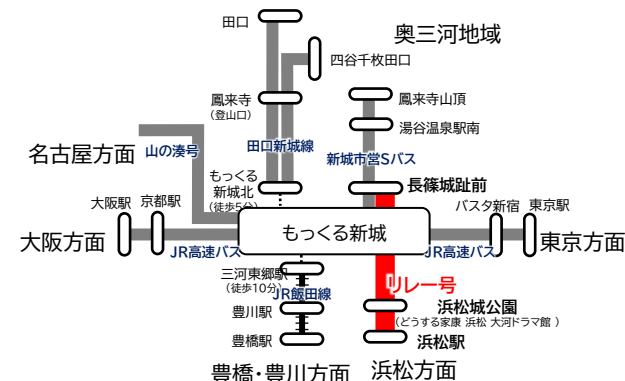
# (2) 豊かさを実感できる地域の実現

## 広域周遊観光の促進

### ○高速道路に接続している「道の駅」の拠点・ハブ化実証事業（中部運輸局）

高速道路に接続している「道の駅」である利点を活かした様々な機能充実策を検討し、「道の駅」を核とした訪日外国人旅行者等の広域周遊に繋げるための認知度向上、誘客促進等の手法を他地域でも活用可能な方策としてとりまとめを行うため、実証事業を実施。

東京、京都、大阪方面の高速バスの休憩地である道の駅「もっくる新城」を拠点とし、乗り継ぎ利便性を把握するため、浜松と新城を結ぶ高速バス「浜松新城リレー号」の実証運行を行い、高速バス「新城名古屋藤が丘線（山の湊号）」との乗り継ぎにより、名古屋方面から浜松市へのアクセスが1回の乗換で可能となるなど、家康公をテーマとした「浜松、新城、長久手」を巡る広域周遊観光を期待。



### ○広域周遊観光促進のための観光地域支援事業

訪日外国人旅行者及び日本人国内旅行者の「新たな旅のスタイル」に対応するため、観光地域づくり法人（DMO）が中心となり、地域が一体となって行う、調査・戦略策定、滞在コンテンツの充実、受入環境整備、旅行商品流通環境整備、情報発信といった取組に対し総合的な支援を実施。

#### 具体的な支援イメージ

①調査・戦略策定	②滞在コンテンツの充実	③受入環境整備	④旅行商品流通環境整備	⑤情報発信・プロモーション
データに基づき、旅行者に対し訴求力のある取組を実施するための調査・戦略策定を支援。  マーケティング調査	地方部への誘客につながる地域独自の観光資源を活用した滞在コンテンツの作成を支援。  集客の啓蒙	HP等で混雑状況の情報を提供するシステムや、観光地の案内アプリの整備等を支援。  混雑状況の情報提供	旅行商品の国内外OTAへの掲載、旅行会社との商談会などを支援。  商談会への参加	WEB・SNSを活用したエリア内のコンテンツの魅力等に関する効果的な情報発信を支援。  WEBを活用したエリア内の魅力発信

＜英国および国内市場向け商品企画及び現地エージェンシーを活用した販路形成事業＞  
（中央日本総合観光機構）

（概要）  
中部北陸9県のDMO・自治体等から提案のあった観光コンテンツを  
専門家の意見を踏まえながら旅程化、  
現地旅行会社に対し販売を働きかけ



Introducing Chubu – the historic heartlands of Japan

# (2) 豊かさを実感できる地域の実現

## 持続可能な観光の促進

### ○サステナブルな観光コンテンツ事業（中部運輸局、北陸信越運輸局）

ポスト・コロナ時代を見据え、サステナブルな観光を希望する訪日外国人旅行者をターゲットに、自然、文化、地域本来の生活（生業）といった豊富な地域資源の保全と活用の両立と、旅行者の新たなニーズに対応する基盤整備のため、日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）との関連性を持たせた「サステナブルな観光コンテンツ強化事業」を実施。

#### 「金沢能登広域での新しいサステナブル観光コンテンツ強化事業」

※実施地域：石川県金沢市、能登地域（七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町）



かなざわ総合市場での夜セリ見学



金蔵集落の散策  
(サステナブルな暮らしを学ぶ)

#### 「姫街道（中山道）の手仕事を紐解きアドベンチャーツーリズムの本體に迫る旅の創出事業」

※実施地域：姫街道（中山道）周辺地域  
(木曽エリア：南木曽町、木祖村、王滝村、上松町、塩尻市他)  
(南信州エリア：飯田市、喬木村他) (伊那エリア：駒ヶ根市、宮田村、辰野町他)



機織り体験



伊那紬着付け体験

#### 「JR小浜線及びJR越美北線を軸としたサステナブルな観光コンテンツ造成事業」

※実施地域：福井県（敦賀市・美浜町・若狭町・小浜市・おおい町・高浜町（JR小浜線）、福井市・大野市（JR越美北線））



青葉山ハーバルビレッジ散策



歴史あるおもてなし文化に触れる  
お座敷遊び体験

#### 「岐阜県下呂市におけるサステナブルな観光振興コンテンツ造成事業」

※実施地域：岐阜県下呂市



地元民家での馬瀬暮らし体験



温泉の魅力を伝えるガイドツアー

# (3) インバウンド回復を見据えた準備

## 訪日外国人受入れ環境整備の推進・高度化

### ○インバウンド受入環境整備高度化事業

主要な観光地における訪日外国人旅行者の周遊の促進及び消費の拡大を図るため、公共交通機関の駅等から個々の観光スポットに至るまでの散策エリアにおける「まちあるき」や広域的な周遊に係る環境整備を一体的に進める事業及び訪日外国人旅行者の来訪が特に多い又はその見込みがある観光拠点施設における拠点機能の強化を図る事業を支援。

補助対象事業

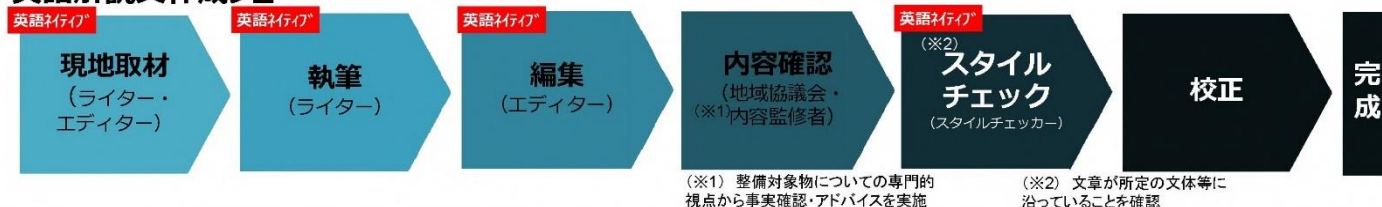
- ・賑わい環境の創出
    - イベント開催等により賑わい拠点となる屋外広場の整備
  - ・新たなニーズへの対応・新技術の活用
    - ワーケーション環境の整備、混雑状況の「見える化」と推奨ルートを表示
  - ・ストレスフリー・快適な旅行環境の整備
    - 多言語案内の整備、無料公衆無線LAN環境の整備
  - ・ユニバーサル対応
    - 段差の解消、子供連れ環境の整備
  - ・拠点機能の整備・改良
    - 外国人観光案内所の整備・改良
- (ほか)



### ○地域観光資源の多言語解説整備支援事業

訪日外国人旅行者が地域を訪れた際、観光資源の解説文の乱立や、表記が不十分なことによる観光地としての魅力が伝わらないとの声を解消するため、観光庁と関係省庁等とが連携して多言語解説の専門人材をリスト化し、派遣体制の構築、解説文作成等の支援を行うことで、旅行者にとって分かりやすく地域の面的観光ストーリーを伝える魅力的な解説文を整備。

#### 英語解説文作成フロー



## 旅行消費額拡大に向けた戦略的プロモーションの実施

### ○欧米豪市場に対する訪日プロモーション

#### 「ZEN」をテーマとした誘客促進事業（福井県）

永平寺を中心とした禅の文化や越前そばなど他県にはない文化や食などの観光資源を、（座）禅、（食）膳、（自）然など、「ZEN」をテーマとしたコンテンツとして旅行商品の造成やイベントの開催等により、欧米市場への誘客プロモーションを実施。

- ・フランス、スペイン、アメリカの旅行会社で「ZEN」をテーマとした旅行商品を造成、販売
- ・フランスの富裕層に影響力のある旅行会社やメディア約50社に対してトップセールスを実施
- ・フランス、パリのそば店「越前そば東郷」で観光PRイベントを開催
- ・パリで開催された日本文化PRイベント「北前船フォーラム」に出展
- ・アメリカ、カリフォルニアに観光レップを開設



パリでの観光PRイベントの様子

#### 国内在住ランドオペレーターへの招請（北陸信越運輸局、金沢市、長野市）

ウィンタースポーツの愛好者が多く、スキーにとどまらずアフター（ビフォー）スキーにおいて観光楽しむ傾向にあるオーストラリア市場向けに、穴場感も取り入れたまだ訪日外国人には手つかず（Unbeaten tracks）の地域や観光素材を紹介し、旅行商品の造成を図るため、国内在住のランドオペレーターを招請。



戸隠奥社でのハイキング

#### 国内在住メディアへの招請（北陸信越運輸局、北陸・飛騨・信州3つ星街道観光協議会）

世界遺産や国宝等、ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンで3つ星として紹介されている、日本屈指の観光資源（文化財）を有する北陸・飛騨・信州3つ星街道（金沢・南砺・白川・高山・松本）の伝統文化や技術、四季折々の自然・国立公園（山岳リゾート）、食文化など、様々な魅力ある観光素材をイギリス市場に向けて紹介するため、国内在住メディアを招請。



芸妓体験



## ■ 観光の更なる質の向上

ハード面では、会員団体が実施する補助等により、ハイレベルなMICEや高付加価値旅行者層にも満足いただけるホテルを誘致・建設することができた他、いくつかの観光地においては国の支援事業なども活用し、面的な観光地再生・高付加価値化を行った。さらに、既存の施設においても、案内のあり方や食に関する宗教的な配慮等受入環境を検証し、メタバース等最新のツールも活用しながら情報発信を行った。一方、ソフト面においては、観光関係者に対するセミナーや先進事例の共有により人材の確保・育成につながる取組を行い、観光の質の向上に繋がった。

これらの活動をさらに発展させ、地域全体の魅力を向上させていくと共に、地域人材の中から潜在的な「観光人材」を掘り起こし観光産業経営や現場を担う人材の確保に努める必要がある。

## ■ 豊かさを実感できる地域の実現

地域に存在する「道の駅」を交通のハブとし、訪日外国人旅行者等を広域周遊に繋げるための実証実験を行った他、利用者が伸び悩む地方のローカル線を活用し、地域固有の魅力を地域の「ウリ」になるコンテンツに磨き上げる取組や、日本版持続可能な観光ガイドに基づき、地域観光資源の保全を行いつつ活用を行うと共に、ニーズに対応する基盤整備を行う取組等、豊かさを実感できる地域を目指し様々な取組を行った。

今後も引き続き将来にわたり旅行者を引きつけるコンテンツの造成・磨き上げを行っていくと共に、地域での旅行消費額拡大に向けた方策の検討・実施と共に、ワーケーションなどの新たなニーズを取込み交流人口の拡大に努める必要がある。

## ■ インバウンド回復を見据えた準備

国などの支援も活用し、観光資源解説の多言語化を進め、観光スポットに至る周辺地域の環境整備を一体的に行い、訪日外国人観光客の周遊促進と消費額拡大を図る取組を実施した他、欧米豪市場に向けて地域の「ウリ」を売り込み、ランドオペレータやメディアを招請するなど、様々なプロモーション活動を行った。

入国規制が緩和されインバウンドが回復しつつある事に鑑み、ストレスフリーで快適な旅行を満喫できる環境整備を引き続き続けていくと共に、地域の観光資源を活用した特別な体験や期間限定の取組を実施するなど、この地域への来訪をさらに訴求していく必要がある

## ■ 今後の方向性

今年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大収束の兆しが見え始めていた中、コロナ後のインバウンド再開・回復を見据え、ハード・ソフト両面での観光の質の向上、地域の「ウリ」の磨き上げや持続可能な観光への取組による豊かさを実感できる地域作り、受入環境整備やプロモーションなどによるインバウンド回復を見据えた準備を進めた。

今後は、来たるべきインバウンドの本格回復に備え、引き続き持続可能な観光地域づくりを進めると共に、地域の観光資源の発掘・磨き上げを続け、観光全般の高付加価値化や長期滞在につながる広域周遊観光の促進により旅行消費額の拡大にも力を入れていく必要がある。